

●事業実施状況報告(8月末)

		令和元年	令和2年
会員数(人)	男	1,423	1,355
	女	474	442
	計	1,897	1,797
就業実人員(人)※		1,504	1,439
就業率(%)		79.2	80.0
受注件数(件)	公共	36	29
	民間	1,991	1,878
契約金額(千円)		319,615	295,277

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

●センターの電話番号の登録を!(お願い)

作業日報の確認や就業紹介など、多くの要件で会員さんの自宅や携帯電話に連絡しています。センターの代表電話を登録してください。事務処理にも支障が出ています。

必ずご登録ください ▶ センター代表電話 **04-7166-6681**

●作業日報及び勤務実績通知書の提出期限の遵守について

作業日報や勤務実績通知書(派遣就業者専用)の提出が遅れると、請求事務に支障が出ます。作業日報等は、締め日後、速やかにセンター事務局又はパレット柏に提出してください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●配分金支払日

9月分	10月26日(月)
10月分	11月25日(水)
11月分	12月25日(金)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

▼ ゆずりはクイズ Part45 ▼

- Q1 配布事業のアンケート結果で配布を希望する会員数は何人でしょうか?
- Q2 植木剪定講習会を開催した場所の大学名は何でしょうか?
- Q3 地区別就業相談会に参加申し込みのあった会員数は何人でしょうか?

●ヒント：3面、4面、6面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは**11月13日(金)**です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。

(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part44の正解

- Q1の答：8問
- Q2の答：76件
- Q3の答：令和2年6月1日

センター
緊急
連絡先

080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に回答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。



目次

- 2P 地域班会議(全体会議 / 地区長会議)
- 3P 配布事業アンケートの結果報告
- 4P 植木班 技能講習会 / 植木班 除草班の募集
- 5P シルバーの顔 / ジョブコラム
- 6P 地区別就業相談会 / 新入職員紹介 / 信頼されるセンターを目指して
- 7P 生涯現役促進協議会連携事業 / 安全だより
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



高柳地区 しいの木台班
高森繁久 会員 ▶ P5をご覧ください!!

編集
後記

令和2年は昨年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスが世界的に感染拡大する年となり、感染収束が見通せない状況です。日本では新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、外出自粛を要請され在宅勤務・テレワーク等の働き方改革が叫ばれた一年ともなりました。シルバー人材センターの仕事は外出自粛出来ない勤務が多く、会員の方々には大変なご苦労・ご心配をお掛けすることとなりました。第2波の感染拡大や第3波の感染が心配されますが、新型コロナウイルスの感染と疑われるインフルエンザへの感染防止の為、インフルエンザ予防接種が必要と思われる。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の実施をお願いします。今年は柏市シルバー人材センター設立40周年を迎えることが出来ました。今後も柏市シルバー人材センターの会員拡大と業務拡大を期待しています。【広報部会S】

●地域班全体会議開催

8月5日(水)、令和2年度第1回地域班全体会議が社会福祉協議会研修室にて開催されました。

今回はコロナ対応のため3つのブロックに分散での開催、各地区の地区長はじめ月川会長以下理事、事務局職員など計64名が参加しました。鳴海総務部会長の司会で進行、「会員の誓い」唱和後に月川会長から新型コロナ関連、最近の事業内容のお話があり、その後、議題①地域班が抱える問題点②配布事業について活発な討議が行なわれました。「広報かしわ」等の全戸配布事業については山口常務から他所の事例などを交えての説明があり、参加者からも前向きな取り組みのご意見も多くありました。今後会員各位へのアンケートを実施のうえ前向きに受注獲得したいとのこと。その後地域班会議の報告、地域の活動報告、事故発生状況、地域班会議ガイドライン、設立40周年式典(中止)、記念誌作成状況などの報告がありました。



●地域班地区長会議開催

～地域班がかかえる問題点、新規配布事業などを討議～

7月13日(月)、令和2年第1回地域班地区長会議が開催されました。各地区の地区長8名と月川会長以下理事、事務局職員など計21名が参加しました。日野副会長の司会で進行、月川会長からは新型コロナウイルスの影響で事業への影響が大きいと更に事業拡大に努力したいと述べられた。その後、鳴海理事の進行で〈議事〉〈依頼〉〈報告〉の順に審議が行なわれました。

〈議題1〉地域班が抱える問題点について

地区長や班長のなり手がいないなど対応策については、出席者からの積極的な意見や提案があり、また、篠籠田班の事例なども取り上げ検討しました。今後、更に班ごとにアンケートなども実施し会員の協力を求めます。

〈議題2〉配布事業について

柏市から選挙公報等の配布業務を業務委託するご提案については全員前向きに検討することになり、近々会員へのアンケートを実施する。

〈依頼事項と報告〉

①設立40周年記念誌への掲載事項の依頼、②地域班全体会議の意見に関する検討結果、③地域班会議開催のガイドライン、④定時総会の出席状況、⑤地域班活動状況⑥本年度事故発生状況、⑦設立40周年記念式典中止などの説明と報告がされた。



配布業務意向調査アンケート結果



この度はお忙しい中、配布業務意向調査アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。会員**1,803名**に意向調査をお願いしたところ**1,529名**より回答をいただくことができ、集計の結果、**希望するが327名**となりました。配布事業実施には400名以上の会員が必要と考えており、地区によっては配布希望者が不足しているエリアもあるので、協力頂ける会員を募集します。

※令和2年9月30日現在

地区名	配布会員募集エリア
田中	小青田、西原、西柏台、柏の葉、若柴
柏西	松ヶ崎、豊四季、あけぼの、明原、末広町、旭町、豊平町、南柏
柏東	中央町、中央1、泉町、若葉町、東1、豊四季
土	藤心、新逆井
大井・大津ヶ丘	若白毛、岩井、泉、金山、片山、布瀬
高柳	高柳1、藤ヶ谷、高南台、高柳新田、南高柳

※ 標記以外の地域も随時募集しております。今後配布業務を希望される会員は、事務局担当和田(04-7166-6681)までご連絡をお願いします。多くの会員のご協力をお待ちしております。

●今後の取組み

最初の配布業務として、選挙公報(令和3年3月予定)の全戸配布受託に向け、担当部署との協議及び準備委員会を立上げ、実施に向けた具体的協議を進めていきます。

●情報提供

協議経過等は、「会報ゆずりは」「柏シルバーだより」「ホームページ」にてお知らせします。なお、配布業務を希望する会員には、今後「配布業務地区別説明会」等を検討しております。決定次第ご連絡いたしますので、もうしばらくお待ちください。



地域班役員の皆様、アンケートの回収にご協力頂き、ありがとうございました。

●真夏の空の下、植木剪定に取り組む

8月6日(木)13時～16時、千葉大学柏キャンパス苗木園で、2020柏市シルバー人材センター剪定講習会が開かれました。

千葉大学環境健康フィールド科学センター都市環境園芸農場造園担当の本間雄二氏を講師に、植木班四十宮(よそみや)職群班長のもと5名の会員が参加し、真夏の強い日差しが照りつける空の下、暑熱をものともせず、熱心に剪定技術を学びました。

この講習会は毎年2回開かれ、5名の会員はみな今回初めて参加する方々です。実習に入る前、本間氏からは、この時期、いろいろな虫や蜂が多く、刺されることもあるので、殺虫剤を携帯することも忘れないようにとの行き届いた注意がありました。

当日は、「鋏を使って剪定を覚えていただくと、刈り込みもきれいにできるようになります」とのことで、



まず、枝葉のついた幹を1本の樹木に見立て、地面に真っ直ぐに立てて、下枝を取る、幹を横切っている枝があったらそれを切る、下を向いている枝を取る、同じ箇所から2本枝が伸びていたら1本をきる、など剪定の基本の手ほどきを受けました。そのあと本間氏のアドバイスを受けて、葉が密生した、人の背丈ほどのオトメツバキ

の剪定と、背の高いマキでは上段、中段は脚立に乗るなどして刈り込み作業に取り組みました。

現在、植木班では42,3人の会員が活動し、2～4人単位で班を組んで仕事をしているそうです。四十宮さんによると、将来的に班長さんをやりたいという意欲のある方がいたら「入会大歓迎」だそうです。



▼ 植木班、除草班 会員募集中!! ▼

植木剪定や除草(刈払機使用または鎌使用の手刈り)作業を希望される方は、センター事務局(業務課)までご連絡ください。

経験不問、単独(1人)作業はありません。講習会も随時行っており、実際の作業の際には、ベテランの経験者が丁寧に指導いたします。配分金単価や作業内容などもご説明させていただきます。ぜひ、1度チャレンジしてみませんか?

下記お電話・メールへ、お気軽にお問い合わせください。

TEL 04-7166-6681

MAIL kashiwa@sjc.ne.jp



シルバーの顔



高柳地区 しいの木台班
高森繁久 会員

●入会のきっかけ

リフォーム会社を退職してこれからは余生を楽しんで暮らそうかと思っていたが、何か身体を動かしたいと思っていたところ、奥様からシルバー人材センターの話聞き、初めて知ったそうです。

●現役時代

手に職を持ってそれを生かすためにリフォーム会社を設立し山谷もあつたなかで、大手のお客様にも恵まれ30年あまり続けられたそうです。またグループの協力会の副会長も務められたそうで仲間からの信望も厚かったことがわかります。

●シルバーの就業

紹介されたのは自転車管理の仕事でしたが、就業して早5年、夏場は猛暑の中ですが20人の仲間とシフトを組んで頑張っています。

この仕事も自転車を預けにこられるお客様との対応が重要であり、現職時代と同じく“目くばり、気くばり、心くばり”をモットーにされているとのこと。又、時にはシルバーのお客様からの依頼で事務所などの修繕などでも喜ばれているそうです。

●趣味

昔はよくへら鮎釣りやスキーなどをやっていたそうです。最近では高校時代のバトミントンクラブで知り

合った奥様と二人で三浦海岸にマグロを食べに行ったり、鎌倉や房総などの散策をされているようです。さすがご家庭では奥様への心配りも充分、3歳になる黒猫のマクちゃんを含めると3人(?)暮らしだそうで、日焼けした健康そのものの顔と、高森さんの優しさと明るさが伝わる目尻のしわと笑顔が印象的でした。

ジョブ コラム

JOB column

最近読んだ本の内容が非常に興味深かったため、紹介させていただきます。

長寿で勤勉で睡眠時間が短い日本人は、世界の中でも前頭葉が老化しやすい民族だと言われています。人間の脳は、前頭葉

が発達しているため、社会性と言語を獲得できました。この前頭葉が老化により萎縮すると、意欲や感情が抑制され判断力が低下し、性格の先鋭化(怒りっぽくなる、頑固になる)が表れます。前頭葉の老化は、40代から始まると言われており、マンネリ化した生活を送っていると委縮しやすいそうです。そのため、年齢に関係なく新しいことに挑戦して前頭葉を鍛えることが大切となります。脳の機能を維持する方法として生活習慣を整えることも大切であり、バランスの取れた食事を1日3食決まった時間に摂ることが重要となります。他にも、

ウォーキングなどの有酸素運動により筋肉を動かすことや、夜ぐっすり寝て脳をしっかりメンテナンスすることなども脳機能の維持には有効だそうです。

以上を踏まえ、シルバー会員の皆様を顧みますと、60代、70代はもちろん、80代会員の方も多数就業しておられます。年齢に拘らず、皆様それぞれが豊饒(かくしゃく)と作業に従事され、常に新しいことに取り組みられています。新しいことへの取り組みは、脳に良い刺激を与えます。その結果、前頭葉が鍛えられ、いつまでも若々しく、健康的な生活を送ることに繋がっているのではないのでしょうか。会員の皆様がこれからも元気に就業していただけるよう、微力ながらジョブコーディネーターの一員として会員の皆様をサポートさせていただきたいと思っております。

【ジョブコーディネーター 入山】

●地区別就業相談会

令和2年度の事業計画に基づき、地区別就業相談会を開催しました。

9月15日(火)から25日(金)の延6日間(12会場)、各地区の近隣センター等で開催しました。



9月1日付、未就業会員(令和2年8月末総会員数1,800名中、4月から7月の間、一度も就業実績のない会員)406名にお知らせしましたところ、54名の会員(男性40名、女性14名)から参加希望がありました。



相談会に参加された28名の会員に新たな就業先を紹介することができました。

未就業相談は、センター事務局でも

毎月、最終水曜日に行っていますが、来場者は少ないのが現状です。相談会の主旨は、未就業の解消ですが、現在の就業に関するお悩み事、相談事がありましたら、就業先担当のジョブコーディネーターが対応しますので、お気軽にご相談ください。

●信頼されるシルバー人材センターを目指す

トラブルや苦情、会員同士の確執、ハラスメント、セクハラは、シルバー人材センターの信用を失い、発注者から「契約の解除」または「終了」の要因となり得ます。そのようなことが無いよう、会員一人ひとりが、組織の一員としての自覚を持ち、就業することが大切です。

右記は、あるセンターの広報誌に掲載されたものですが、当センターでも同様のことがないように注意しましょう。

●柏市シルバー人材センター 新入職員のご紹介

柏市シルバー人材センターに、新入職員が入りました。どうぞよろしくお願いいたします。

New Staff

JOB Coordinator
ジョブコーディネーター

中野 克美 さん
(北部担当)



New Staff

JOB Coordinator
ジョブコーディネーター

袁内 眞三 さん
(南部担当)



New Staff

Back Office Staff
経理事務職員

鈴木 真奈美 さん



現在のジョブコーディネーター体制

北部担当	安西職員	入山職員
	岩崎職員	中野職員
.....		
南部担当	新井職員	富岡職員
	吉田職員	袁内職員

- 就業日の失念
- 情報漏えい
- 横柄、高圧的な対応
- 交通ルールの無視
- 禁止場所での喫煙、ポイ捨て
- 就業報告書を期日までに提出しない
- 無断で仕事を休む
- 時間にルーズ

⚠ **トラブルや苦情を減らすために
心掛けてください** ⚠

●柏市生涯現役促進協議会 オンラインセミナー

今年年頭から日本を襲った「新型コロナウイルス」感染のため日常生活が従来通り行うことが出来ず、外出を自粛し密閉、密集、密接を避けるという生活を守りながら日を過ごす毎日を守っています。その為にあらゆる情報が入らなくなり、人との交流もほとんどなくなり、今までになかった問題が起きています。特に日々の



健康維持については充分考えて注意が必要です。既にそのために役所、学校などではこのオンラインを採用して活用していますが、このほど私たちシニアの人たちを対象にしてオンラインの活用を具体的に始めることになりました。

今回は、シルバー人材センター、社会福祉協議会、職業



安定所などが協力して生涯現役促進協議会が主催してセミナーが行われました。第一回ということで25名の参加でしたが、実例としてすでにオンラインを活用して海外の若者と毎日情報交換しておられるシニアの方の報告、また、オンラインを利用して「丸亀製麺」の業務募集の実態などの紹介がなされました。これから益々このオンラインが活用され、皆さんの生活に大いに勇気と元気が与えられることを願っています。

安全だより



A N Z E N D A Y O R I

さらにヒューマンエラーを無くする為に 安全委員長 倉林博孝

令和2年度の事故発生状況は、11件(9月11日現在)、前年同月比の22件を大きく下回る推移です。会員皆様の安全意識の向上に感謝申し上げます。しかし、その事故内容をみると、ヒューマンエラーに起因する事故が多くみられます。具体的には、

- ①三脚・鉄・大工道具等による発注者財物の物損事故…1件
- ②刈払機による小石飛散事故…2件
- ③通勤・作業時での不注意…5件

これらの事故の特徴は、経験年数に関係なく発生する点です。即ち、誰でも起こす可能性があります。「この位は大丈夫だろう」という安全対策の軽視、「この方が早く完成する」と、本来手順から外れた

省略行動、又疲労や単純作業による注意力の散漫、更に加齢による心身機能の低下、パニックによる操作の誤り等です。

ヒューマンエラーを無くすためには、手順書の作成・見直し、研修の充実、健康管理が必要です。会員の皆様には改めて、このヒューマンエラーによる事故減少の

**慌てず、落ち着いて
就労しましょう!**



為に、各持ち場で見直しや確認をお願い致します。令和2年度も後半に入り、就業機会も増加する事が期待されております。事故無く元気に就業されます様、お願い致します。

なお、手順書の作成・見直し、研修に関するご希望等、また健康管理に関する事項でのご相談は、ご遠慮無く安全委員会委員若しくはセンター職員にご連絡頂きますようお願い致します。